

第60回カレッジ川柳会月報

第六十回カレッジ川柳会月報(八月例会記録)

日時 … 令和四年八月二十四日(水) 午後一時～四時

場所 … 美浜公民館・第一会議室

講師 … 佐藤 公江(千葉県川柳作家連盟理事)

出席者 … (順不同・敬称略) 大柳 シオン、萱野 澄彥、

谷口 勝、中間 孝、松谷 のん紀、両角 節児、

山岸 順、山口 昇柳、黒崎 与三坊

清田 アキラ(投句)、中葉 放 大(投句)

課題「空振り」互選 佐藤 公江 講評

1点 台風予想外れてほっとする

イチジクも今年ダメか盆も過ぎ

釣り帰りクーラー中身切り身じゃけ

空振りを笑みで迎える怖いママ

疑似陽性膀胱鏡で解消す

空振りの音大物の予感する

これ以上待っても彼女来ないだろ

嫌なヤツ道を変えても鉢合わせ

これ以上待てばカイロの火が消える

ため息が終りを告げる蔵開き

自信作今度もダメかあすなろう

絶好機に四番のバット空を切る

勝

放 大

のん紀

アキラ

孝

順

放 大

シオン

放 大

順

放 大

与三坊

鯛でもタレは本物土用の日

メモしたがメモした紙が見当たらぬ

空振りを覚悟でねらうホームラン

2点 やっと出た夜中の創句朝に消え

集まりにお目当ての人現われず

今年はと期待したのに柿3つ

届け物我が家素通りお隣りへ

その顔はあんた今度も振られたね

沢山の三振もあるショータイム

片思い待ち伏せの彼女連れ

3点 熱が出てコロナ疑いただの風邪

4点 三振も山と積もれば大記録

5点 新大臣また空振りの拉致家族

7点 思いつ切り地球をたたくスイカ割り

のん紀

澄 彥

澄 彥

シオン

節 児

放 大

のん紀

放 大

与三坊

のん紀

孝

アキラ

順

与三坊

課題「空振り」 佐藤 公江 選

〔秀句〕

台風予想外れてほっとする

新大臣また空振りの拉致家族

届け物我が家素通りお隣りへ

フルスイング空切る音に悔いはない

空振りを覚悟でねらうホームラン

思いつ切り地球をたたくスイカ割り

勝

順

のん紀

勝

澄 彥

与三坊

第60回カレッジ川柳会月報

例「講師の句」 課題「空振り」

整形をしたが美人にほど遠い
クーポン券まいだが客がはいらない
本心は同居したくて建てた家

公江
公江
公江

課題「わざわざ」二人選 谷口 勝選

「秀」手間かけて地球の上を歩く人

電車好き山の手線の逆廻り

風水に凝り遠くなるマイホーム

雀友に好かれる俺は鴨にネギ

炎天下日影選んで遠回り

ママ美人遠い呑み屋にちと行くわ

鼻頂勝ちスポ紙買いにコンビニへ

「客」焼酎のお湯割りを飲む暑氣払い

フリーサイズ如何ですかと試着室

いらっしやいコロナの中をよく来たね

様子見に手渡しされる祝金

付け届けみんなの前で礼言われ

「人」ゴミの日よ出す気なくなる念押され

「地」振り込んだ特殊詐欺から領収書

「天」自尊心芽生え摘み取る老婆心

アキラ
のん紀
順
与三坊
澄 彥
アキラ
シオン
与三坊
のん紀
節 児
のん紀
与三坊
放 大
のん紀

「自句」 課題「わざわざ」

ありがとう綺麗に磨き靴捨てる
夕暮れに居酒屋のない回り道
くじ買いにゲンを担いで西銀座

勝勝勝

課題「わざわざ」二人選 佐藤 公江選

「客」合わなくて捨てた入れ歯が届いてた

炎天下日影選んで遠回り

付け届けみんなの前で礼言われ

くじ買いにゲンを担いで西銀座

空蝉を拾い集めて土に埋め

「人」電車好き山の手線の逆廻り

「地」焼酎のお湯割りを飲む暑氣払い

「天」ありがとう綺麗に磨き靴捨てる

例「講師の句」 課題「わざわざ」

貰いてのつかぬ子猫に餌もつけ

ブランドで出ればユニクロあとへつき

廃校へ行くおさげの頃に会いたくて

放 大
澄 彥
勝
与三坊
のん紀
与三坊
勝
公江
公江
公江
公江

第60回カレッジ川柳会月報

自由吟 佐藤 公江 選

〔秀〕

目の黒いうちに食べたい新さんま
 新人を褒めて育てる夏休み
 何のことあそこだあれだ言われても
 貧富の差元氣長寿でとり返し
 目覚ましはハトとカラスのせめぎあい
 残り蟬蚊の鳴くような声で鳴き
 仏壇にかしわ手打つ児微笑まし
 蟻んこに蟬の亡骸処分させ

与三坊 昇柳 節児 シオン シオン 放 大 放 大 勝

〔客〕

老いらくのロマンありそな一人旅
 食費高騰苦味酸味の増す暮らし
 祈り見る戦火の空に虹かかる
 昭和のジャズ聞けば名画がよみがえる
 没の句も選者違えば日の目見る

のん紀 与三坊 放 大 勝 のん紀

〔人〕

絵日記に日焼けだらけの僕がいる

順

〔地〕

息抜きに2泊3日のホスピタル

放 大

〔天〕

銃撃の陰に政治の闇が見え

勝

お知らせ

次回令和四年九月例会予定

日時：九月二十八日（水）午後一時～四時

場所：美浜公民館・第一会議室

① 互選 課題「しどろもどろ」三句以上

② 二人選 課題「理想」三句以上（順選・公江選）

※互選句と二人選句は九月二十四日までに事務局あて

投句をお願いします。締め切り期限厳守をお願いします。

③ 「自由吟」三句以上（佐藤公江選）※例会当日に句箋で投句

願います。

自由吟 落穂拾いコーナー

このまま消えるのが「惜しい」句は？

活発な意見交換で 川柳の腕前を上げよう！

第60回カレッジ川柳会月報

八月 自由吟 落穂拾い

- ① 頭しねり創った川柳みな駄作
- ② 盆過ぎて蟬がコオロギ譲る声
- ③ 便秘症おまじないにてスツキリト
- ④ 親の歳とうに過ぎ来て我が身見る
- ⑤ 朝シャワー落としたつもり加齢臭
- ⑥ 失恋を思いださせる日焼け跡
- ⑦ 猛暑では自宅にこもりクーラー下
- ⑧ 散歩道蟬の鳴き声樹木見る
- ⑨ ぬか床でよみがえる曲がった胡瓜
- ⑩ 経験者優遇されないマニキュア化
- ⑪ 散歩づれ昨日そのグチ聞きました
- ⑫ 傷つけて傷つけられてなお一緒
- ⑬ 右手怪我トイレと風呂で大困り
- ⑭ 経験の価値ある時代遠くなる
- ⑮ へぼ将棋孫に教えて雲の上
- ⑯ 医者処方漢方風邪薬効く効かず
- ⑰ 何もかも男と女同じよう
- ⑱ 老いてなお生活リズム取り戻す
- ⑲ パリ帰り三星シェフもコロナ負け
- ⑳ 大腸のポリープつまみ元気生き
- ㉑ 地元にも老いの清談する仲間
- ㉒ 褒めるとは只で出来るのボランティア